



不適切な手作業による人身傷害のリスク

不適切な手作業による人身傷害のリスク

本リスクアラートは、SSMの予防チームのタスリム・イマド（Taslim Imad）が作成しました。

背景

係船索などの不適切な手作業による背部負傷など、背部負傷の請求が最近多発していることを踏まえ、当クラブは、メンバーの皆様およびその乗組員に対し、適切な手作業を行わなかった場合に生じるリスクについて注意喚起したいと思います。

本リスクアラートは、船上で荷役作業中に手作業を行うときに考慮すべき重要な要素を明確にすることを目的としています。

考えられる原因

手作業は、どのような規模・種類の船舶においても共通の作業であり、船舶が移動体であるから、作業者の負傷リスクは大きくなります。また、適切な訓練、リスク評価、および正しい手作業手順を行っていない場合、乗組員が負傷する可能性はさらに大きくなります。

また、どの種類・規模の船舶であっても、係船索の手作業などの作業が日常的に繰り返されることから、乗組員が日常の船上作業に無頓着になっていることがあります。

その他の原因として、負荷の高い作業の繰り返し、手作業時の不適切な姿勢、振動への暴露、不安定、不均衡または保持困難な荷重の取り扱いが考えられます。

予防措置

次に挙げる動作は、手作業を開始する前や作業中の基本的な手順です。不適切な手作業に起因する負傷のリスクを回避し軽減するため、これらを行う必要があります。

- 可能な限り手作業を避け、利用可能な吊り上げ器具と装置を利用する
- 手作業を開始する前に、十分なリスク評価、ツールボックスミーティング（危険予知訓練）、および適切な計画立案を実施する
- 作業者を適切に訓練し、計画した仕事に適合させるための負荷の特性（重量、重心、高負荷側、形状、サイズなど）、労働力、期間、およびチーム評価を含む作業計画を立てる
- 作業者が自身の能力と手作業の限界を理解し把握し尊重する
- 必要に応じて適切な現場監督を配置する
- 作業前および作業中における全乗組員間の効果的なコミュニケーションを保つ
- 下記を含む作業環境を配慮する
 - 船舶の移動
 - 閉鎖的空間
 - 高所、高温／低温表面への接近、船舶側、鋭いエッジ、階段または舷門などの物理的障害物、滑りやすいデッキ等の場所
 - 周囲温度の高さまたは低さ
 - その他一般的な気象条件
- 作業条件に適した作業着・個人用防護具を備え、使用する
- 手作業を取り入れる前または実施前の訓練の提供
- 定期的な再訓練の実行

文書化および事故の報告

- 関連するリスク評価の詳細手順を文章化しておく
- 関連する全関係者への初期の正確な事故報告
- 完全かつ詳細な事故調査の実施（根本原因の特定は、将来の事故を防止するための重要なステップです）



STEAMSHIP MUTUAL リスクアラート



- 必要に応じて、最新情報と写真によるフォローアップ報告
- 日誌の記録（記録管理の正確さ）
- 船舶所有者・運航者への通知
- 会社の手順に従い、必要に応じて当クラブの現地コレスポンデントへ通知

上記は、他で広く利用可能なガイダンス（本アラートでは扱わないもの）を補足するものです。

推奨する参考文献

- 当クラブからのリスクアラート
 - [RA08](#) – 安全な係留の訓練
 - [RA29](#) – 乗組員の不十分な採用前健康診断（[PEME](#)）のリスク

《英語原文》

<https://www.steamshipmutual.com/publications/Articles/turkeyundeclared-bunker-cases-at-turkish-ports022020.htm>